

社協ワーカーだより

No. 67 (平成30年4月)

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー(職員)の動きや社協の事業について情報発信するお便りです!!

いつもお読みいただきありがとうございます。今月から片面のみとなりましたが、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課 (Tel 720-5356)
西区社会福祉協議会 (Tel 895-3110)

今月は、区社協CSWが
関わった事例のご紹介です



～高齢者の住み替え相談から、地域の見守りや介護サービスの利用へつながった事例～

一人暮らしの高齢者Aさんから区社協に「住んでいるアパートが取り壊しになる。住み慣れた地域を離れたくないので困っている」と相談がありました。校区担当CSWは、市社協の「住まいサポートふくおか[※]」の相談員とともに転居先選びや引っ越しに関わるお手伝いを行い、Aさんは無事に近くに転居することができました。Aさんはこれまで地域行事に参加する機会がなかったとのことだったため、校区社協が主催する高齢者会食会やふれあいサロンを紹介したところ、その後毎回参加されるようになり、大変喜ばれていました。



転居から半年ほど経過した頃、Aさんがふれあいサロンで「最近、ガス会社のセールスが悪質でしつこい」と困りごとを相談されました。CSWが詳しく話を聞いて管理会社やガス会社に状況を確認すると、転居したアパートでは改修工事に加え、ガス会社の切り替えが必要となり、Aさんはその手続きや工事が続いているという混乱されているということがわかりました。CSWは把握した状況をAさんに伝え、一緒に必要な書類の確認を行うことで安心してもらいました。

その情報をサロンのボランティアや民生委員と共有し見守りをお願いしていたところ、しばらくしてAさんの様子がおかしいと連絡がありました。また、同じ時期に「住まいサポートふくおか」の担当者への連絡や110番・119番通報を頻繁にしていたこともわかり、認知症の症状ではないかと思われたため、Aさんの意思を確認したうえで地域包括支援センターにつなぎました。



その後、地域包括支援センターの支援で、医療機関の受診や介護保険の申請が行われ、介護サービスや声の訪問を利用しながらAさんは在宅での生活を継続されています。

Aさんの困りごとの相談をきっかけに、地域での見守りや行事への参加につながり、そのつながりの中から早期にAさんの変化を察知して必要なサービスや医療機関につなぐことができました。社協では今後も、民生委員をはじめ専門職と連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らせるお手伝いをしていきます。

「日々の生活に不安がある」「地域に心配な方がいる」…
そんなときは、一度、区社協校区担当CSWにご相談ください!



西区社会福祉協議会
(☎895-3110)

※「住まいサポートふくおか」(福岡市社会福祉協議会地域福祉課事業開発係)

住み替えでお困りの高齢者を対象に、民間賃貸住宅への入居に協力する「協力店(不動産事業者)」や様々な生活支援を担う「支援団体」と連携し、民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する事業です。物件情報の提供、入居時や入居後に必要なサービスのコーディネートなどを行います。《問い合わせ先：☎720-5356》